

第23回 前進座 夢千代日記

2016年
2月3日(水)
6:30 開演
(30分前 開場)



作/早坂暁
台本/志村智雄
演出/志村智雄 橋本英治
出演/今村文美 度会元之 他

NHKドラマで1981年、翌年「新・夢千代日記」と連続放映。15才の少年兵だった作者・早坂暁の被爆直後の広島夜のプラットホームでの実体験が大きく関わる。体内被爆という重いテーマを内在しつつも、明るく強く生きる人々の姿を映し出す。さらに前進座の磨き抜かれた三味線、踊りなどの和芸、旅回り一座のシーンなども存分に楽しめるでしょう。

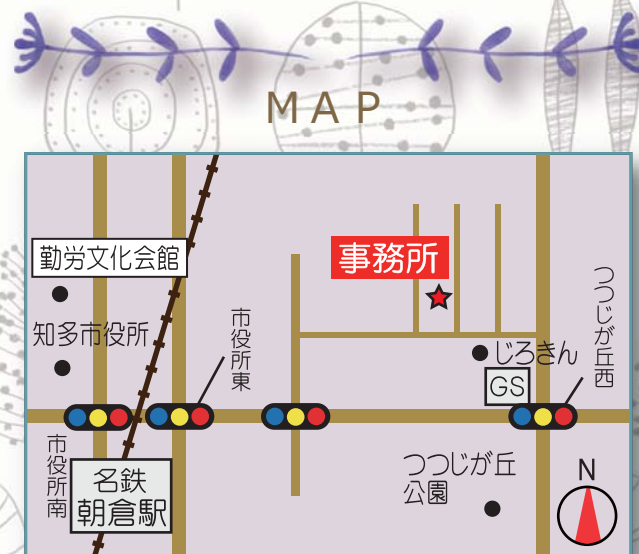
第24回 劇団民芸 集金旅行

2016年
5月8日(日)
開演時間未定



原作/井伏鱒二
脚色/吉永仁郎
演出/高橋清祐
出演/榎山文枝 西川明 他

かつて映画化された同名小説を現代舞台化した喜劇。主人が亡くなり借金の残されたアパートに、この先も住み続けたい居住者たちは、部屋代を踏み倒した不心得者の郷里を巡り、滞納金を取り立て借金返済に充てる計画を企てる。目的の違う集金人男女2人の奇妙な道中が始まる。



第25回 文学座 セールスマンの死

2016年
7月10日(日)
開演時間未定



作/アーサー・ミラー
訳/酒井洋子
演出/西川信廣
出演/たかお鷹 富沢亜古 他

長年セールスマンを続けてきたウィリーは、時代に取り残され、妻には内緒で借金をしてサラリーを渡していた。息子達は期待にこたえてくれず、辛い現実から逃れるためにウィリーがすぎるのは、景気のいい時代。アメリカンドリームを押し付けてくる父に反発する長男。ウィリーがとる行動とは～。
演劇史上の名作が現代と交錯する。

第26回 東京芸術座 蟹工船

2016年
11月8日(火)
6:15 開演
(30分前 開場)



原作/小林多喜二
脚色/大垣肇
演出/印南貞人 川池丈司
出演/北村耕太郎 井上鉄夫 他

昭和のはじめの頃。食いつめて「自分を売る」より仕方がなくなった男たちが函館の港に集まってきた。蟹工船・博光丸はボロ船で、カムサッカの荒海でメリメリと音をたてて鳴っている。若者たちが、自分たちの事として読み、現代によみがえった「蟹工船」の舞台。考えの違う仲間でも同じ目的のために声を上げていく。「んっ、もう一回だ」

メッセージ欄

